

新型コロナウイルス まん延防止等重点措置



県担当者（右）に申し入れ書を手渡す
加藤英雄県議（左）、みわ由美県議（中央）

主な申し入れ事項

県内2万件を超える一日最大PCR検査能力を 活用し、変異株を含む大規模な検査の実施を

この間の一日当たりのPCR検査数は、多い日でも数千程度。感染力が強いと云われる変異株のスクリーニング検査は、県、千葉市、船橋、民間機関で実施しています。4/12～18の検査数は238検体で、その割合は27.6%にすぎません。県内の変異株は297件（4/25）発生しています。無症状感染者の把握、隔離・保護や変異株の発見に本気で取り組むよう求めました。

医療従事者、高齢者等へのワクチン早期接種 正確な情報の提供を国に求め、県民に公表を

県内医療従事者等のワクチン接種率（4/23）は、1回目65.6%、2回目34.4%です。多くの医療スタッフは、ワクチン未接種のまま医療現場で働いています。一部の自治体では予約や接種場所をめぐる混乱が生じています。必要な手立てを講じるよう求めました。

中小業者が事業を継続できる十分な補償を 「協力金」が一刻も早く手元に届くように

営業自粛・時短に応じた業者から「3月中旬に申請（第3弾の協力金）したが、いまだに振り込まれない」「手続きに手間がかかる」等の苦情が後を絶ちません。苦境に立つ業者に寄り添い、協力金の早期給付や2回目の「持続化給付金」「家賃支援給付金」を求めました。

すべての医療機関への減収補てん・必要な病床の確保、ひとり親家庭など生活困窮者への支援、関係者へのオリンピック・パラリンピックの中止要請なども求めました。

くり返される感染急拡大を
何としても抑え込むために

5月11日まで、東京、大阪などに緊急事態宣言が出され、千葉県は、市川、船橋、松戸、柏、浦安に続き、千葉市、野田、習志野、流山、八千代、我孫子、鎌ヶ谷に「まん延防止等重点措置」が適用されました。感染急拡大が繰り返されており、従来の延長線にある対策では感染拡大を食い止められません。4月30日、新知事宛に対策の抜本的拡充をあらためて申し入れました。

知事に申し入れ
しました